

# 神奈川県議会議員 石川ひろのり

## 県議会レポート 2026 vol. 39

石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202  
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614  
info@hiro-ishikawa.jp

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階  
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933



facebook



HP

石川ひろのり 検索



## ガソリン税減収と30億円の使途 総務政策常任委員会にて質疑

県政  
刷新

12月、総務政策常任委員会において「ガソリン税・軽油引取税の暫定税率廃止に伴う県財政への影響」および「私学授業料無償化に伴う財政対応」について質疑を行いました。昨秋、県は来年度予算編成にあたり約500億円の財源不足が生じるとの見通しを示しています。こうした厳しい財政状況の中にあっても、県民サービスを守るため県として考え得る対応策を幅広く検討するよう求めています。

### ガソリン税・軽油引取税の 暫定税率廃止に伴う県財政への影響について

**石川】** 知事提案説明において、暫定税率廃止による県の減収額は、最悪の場合約110億円に上るとの報告があった。令和7年度予算においても約1,800万円の影響があるとされている。これに対する対応はどのようになっているのか。

**財政課副課長】** 国は、地方財政に支障が生じないよう、地方財政措置により適切に対応している。現時点では補填が行われない事態は想定していないが、万一、十分な措置が講じられなかった場合には、**税收全体の動向や財政状況を見極めながら対応を検討する。**

**石川】** 国は地方財政措置により適切に対応しているが、**具体的な代替財源は示されていない。**県として、**国に対し代替財源に関する具体案を示しているのか。**

**税制企画課長】** 県として、**具体的な代替財源案を示した要望は行っていない。**全国知事会を通じて**恒久的な代替財源の確保を要望している。**

**石川】** 暫定税率廃止による県の減収額は約110億円に上るとされている。9月には、来年度予算の検討にあたり約500億円の財源不足であるとの報告があった。今回の減収分はこの500億円に**織り込まれているのか。**

**税制企画課長】** 廃止時期が不透明であったため、**織り込んでいない。**

**石川】** 県はすでに約500億円規模の財源不足としており、代替財源が確保されなければ、**最悪の場合600億円を超える財源不足となる可能性がある。**この事態を想定した対応は検討されているのか。

**財政課副課長】** 万一、補填がなかった場合には、**財政調整基金の取り崩しや歳出のさらなる精査・抑制を行うことで収支均衡を図る。**併せて、**こうした事態とならないよ**

う、国に対し代替財源措置を強く要望していく。

**石川】** 国への要望を徹底するとともに、県として、**考え得る対応策を幅広く検討し、県民サービスを守るための対応を求める。**

### 私学授業料無償化を巡る財政対応について

**石川】** これまで県が独自に負担してきた、私立高校授業料支援の予算額はどの程度か。

**財政課副課長】** 令和7年度2月の3党合意に伴い国制度の拡充において、所得制限がなくなり、支給上限額が私立高校授業料の全国平均である457,000円に拡充された場合、**県独自の学費補助の財政負担は30億円程度軽減される見込みである。**

**石川】** 県がこれまで充ててきた約30億円の今後の使途の考え方を確認する。

**財政課副課長】** 来年度当初予算では約500億円の財源不足が見込まれるなど、厳しい財政状況にある。**税收見込みや財政状況を見極めながら今後検討していく。**

**石川】** 国負担に移行するにあたり、対象となる**学校や生徒、その保護者の手続きに変更は生じるのか。**

**財政課副課長】** 国の制度の詳細が示されていないため、手続きがどのようになるか**現時点では不明である。**

**石川】** 手続きに変更が生じる場合には、学校や保護者への早期かつ丁寧な周知を求める。また、30億円は決して小さな金額ではない。県負担の軽減により生じる財源については、**教育の充実や県民サービスの向上、将来の財政安定につながる基金への積立など、有効な活用を求める。**





## 活動報告

## 緑と道の美術展 in 黒川2025

11月、はるひ野駅前で開催された「緑と道の美術展 in 黒川2025 オープニングセレモニー」に伺いました。本美術展は今年で10回目を迎え、これを記念して今回初めてセレモニーが開催されました。これまでの歩みや関係者の皆さまの尽力についてのお話を伺い、地域に根ざした取組みであることが伝わってきました。作品展示を行う方からお声掛けをいただき、後日、全作品を約4.5キロ、1時間ほどかけて鑑賞。麻生区の豊かな自然の中に、地域と結びついた芸術作品が点在し街並みや緑と調和した風景が広がりとても印象的でした。



## 市場の学校プロジェクト2025

12月、横浜中央卸売市場で開催された「市場の学校プロジェクト2025中間発表会」に伺いました。本プロジェクトは、高校生と横浜市場の仲卸店舗が連携し「PR活動」「商品開発」「イベント企画」などを通じて課題解決に取組み、市場の魅力を多くの人に伝えることを目的としています。当日は、県立・私立高校の生徒の皆さんから、県立海洋科学高校と連携したこれまでの取組みについてなど発表がありました。若い世代ならではの柔軟な発想と行動力が、地域と市場をつなぐ新たな可能性を感じさせ、今後の広がりを楽しみにしています。



## 上麻生東町内会「体験型自主防災訓練」

12月、柿生小学校で開催された、上麻生東町内会と柿生地区総合型地域スポーツクラブGET共催の「体験型自主防災訓練」開会式に伺いました。日頃の備えや災害時に自らの身を守る行動を学ぶ訓練で、毛布担架による搬送体験や児童による防災学習の発表展示などが行われました。実際に体験することで、机上では気づきにくい課題を知ることができました。「知っている」から「できる」へと意識が変わることは、いざという時の安心感につながり、自助・共助の力を育むきっかけにもなります。地域のつながりや助け合いの大切さを改めて感じました。



## 駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に県議会レポートをお配りしています。毎回多くのお声掛けをいただき、地域の皆さまの声を直接お聞きする貴重な機会となっております。お見かけの際にはぜひご意見・ご要望をお聞かせください。



## 各町内会 餅つき大会

12月、各町内会で開催された毎年恒例の「餅つき大会」に参加し、地域の皆さんと一緒に餅つきを楽しませていただきました。今年はおもち米の価格高騰の影響を受け、販売価格を見直したり、もち米の量を調整したりした町内会もありましたが、会場では多くの方がつきたてのお餅を囲み和やかに過ごされていました。また、薪を使った作業は、災害時の炊き出しを想定した訓練も兼ねており、実践的な取組みとなっています。こうした行事は、地域の方々の交流を深めるとともに、子どもたちにとっても食の大切さを学ぶ機会です。地域の伝統がこれからも受け継がれていくことを願っています。



## 県政報告(タウンニュース掲載)



## 石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

県財政への影響  
ガソリン税・軽油引取  
見込んでおり、今回の1  
500億円の財源不足を  
守るための対応を求め  
ています。

石川ひろのり事務所  
麻生区百合丘1-5-4  
米山ビル202  
044-455-6611  
FAX 044-455-6614  
E-Mail info@hiro-ishikawa.jp

国による授業料無償化に伴う  
今後の使途方針  
により、これまで県が独自に負担してきた約30億円が国負担に移ります。

国による授業料無償化に伴う  
今後の使途方針  
により、これまで県が独自に負担してきた約30億円が国負担に移ります。

かながわ未来県政報告vol.61  
県財政をめぐる課題  
神奈川県議会議員(麻生区選出) 石川ひろのり  
県議会は12月18日まで、税の暫定税率廃止による10億円を合わせると600億円を超える財源不足となります。こうした状況を踏まえ、私は全国知事会などと連携し、代替財源の確保に向けた積極的な提案を行うよう求めています。私は県財政が厳しい状況にあっても、子育て環境整備、介護・医療、交通安全対策など県民生活に密着した税の使い方を提案し続けています。皆さまのご意見を待ちしております。

委員会は「この財源の今後の使途方針」「受験生・学校現場の手続き変更の有無」などを質問しました。あわせて、この30億円については「財政健全化や教育施策の維持に生かすべき貴重な原資」と位置づけ、県に対して計画的な活用を提案しています。私は県財政が厳しい状況にあっても、子育て環境整備、介護・医療、交通安全対策など県民生活に密着した税の使い方を提案し続けています。皆さまのご意見を待ちしております。

県財政をめぐる課題ーガソリン税減収と30億円の使途ー  
2025年12月19日号

## 石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス産業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選（現在3期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。  
趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録 3時間29分29秒）  
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりホームページ▶

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのり



## 事務所スタッフ募集中

石川ひろのりの活動へのご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりへのご意見・ご質問を待ちしております。  
FAX 044-455-6614  
E-Mail info@hiro-ishikawa.jp

## ご意見など

ご記入いただきました情報は業務に限り使用させていただきます。当事務所内にて適切な管理、監督を行います。

## お名前

## ご住所

## TEL